

資機材の管理～メンテナンスについて

いろいろな資機材があるけど、メンテナンスはどうしたらいいの？ 燃料は？ などの疑問にお答えします

1 ねらい

資機材については日頃のメンテナンスが必要な物があります。いざという時に使えるようにしておくため、メンテナンスは十分に行いましょう。

また、メンテナンスを兼ねて、日頃から資機材の取扱い訓練を実施しておくといでしょう。

2 メンテナンスの方法

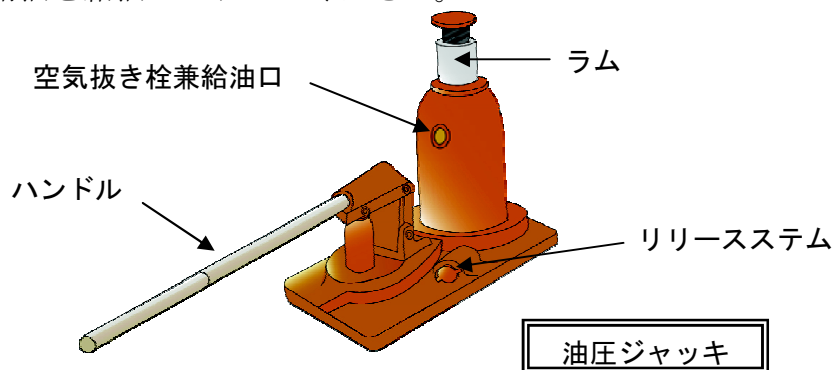
(1) 救助用資機材

① 斧・なた・のこぎり・スコップ・バール・ハンマー・ボルトクリッパー等

使用後、水分を拭き取り、金属部の錆や柄部の腐食に注意するとともに、刃部は磨いておきましょう。

② ジャッキ(2t用)

リリースシステムをゆるめ油圧を抜き、ラムを縮めた状態で収納してください。リリースシステムを緩めすぎて抜かないようにしてください。オイルが漏れます。可動部に潤滑油を給油しておいてください。



(2) 消火用資機材

① 動力ポンプ

使用後は、ポンプ排水コックを開き、完全に排水してから格納してください。海水を使用した時は、必ず真水でポンプ内を洗浄してください。

燃料、真空オイルを確認し、適量を給油後、スタータを2、3回、引いてください。

湿気の多い場所には格納しないでください。寒冷時は使用後、氷結防止策を施しておいてください。

ワンポイントアドバイス

小型動力ポンプ、発動発電機等では、燃料に「混合燃料（ガソリンとオイルを混ぜたもの）」が必要なものがあります。「25：1」など機種により指定されていますのでよく確認し、自分で混ぜる場合には分量等注意しましょう。

※毎月 1 回以上、始動点検をおこなってください。どうしても長期間（3 ヶ月以上）使用できない場合は、以下の手入れをおこなってください。

- ア. 気化器（キャブレター）内のガソリンを抜いてください。（燃料コックを閉じた後、エンジンが止まるまで運転を続けるか、キャブレター内のドレーンスクリューを緩めて燃料を抜いてください）※詰まり防止
- イ. タンク内の燃料を専用容器に移してください。（タンク内が錆びます）
- ウ. スタータを 2、3 回、引いて燃料ポンプ内の燃料を抜いてください。
- エ. エアクリーナを清掃してください。

② 布ホース

水を抜き、十分に乾燥させてから巻いてください。オス金具は傷つけないよう丁寧に扱ってください。ゴムパッキンが浮き上がってないか、劣化してないか確認してください。

③ 吸 管

吸管内の水を抜いてから収納してください。締め付け金具が曲がっていないか、ネジ山がつぶれていないか、ゴムパッキンが浮き上がっていないか、劣化してないか確認してください。



排水コックを開け、水を抜く



キャブレター下ねじを緩め、
燃料を抜く（長期未使用の場合）

④布バケツ

使用後はよく乾かしてから保管しましょう。カビの原因となります。

（3）その他の資機材

①発動発電機

ポンプ内の排水要領を除き、小型動力ポンプの維持管理と同様です。参照してください

②折りたたみ式担架

湿気の多い場所には格納しないでください。（カビが生えます）
たまに虫干ししてください。

ワンポイントアドバイス

☆ 使用前には必ず点検をおこないましょう。特に小型動力ポンプ、発動発電機等は使って動かすことで調子が維持できます。定期的に始動点検を実施しましょう。

☆ 電池を使用する器具は、使用後には外して保管しておきましょう。